見える・つながる・変わる工場

「CIMプラットフォーム」情報をつなぎ、制御・判断・動作を統合

"制御"が変われば、"工場"が変わる。
CIMは、設備・物流・情報をつなぎ、データドリブンで柔軟に動く。
変種変量・セル生産にも対応し、未来のものづくりを支えるスマート工場の中枢です。

お困りの方いませんか

- 多品種少量生産に対応したい
- 設備追加やレイアウト変更に柔軟に対応したい
- 現場の属人化・人手不足を解消したい
- 生産データを活用してDXを推進したい

CIMが選ばれる理由

既存設備を活かしつつ、最小コストで自動化を実現

- シナリオ制御で、現場の変化に即応
- 現場の運用はノーコード／ローコードで簡単に
- 拡張や高度な連携は一般的なプログラミング言語で柔軟に対応可能
- AI・IoT連携もワンストップで対応

CIM導入がもらたす変化

ASIS

CIMのない世界
PLCにて各機器の連携をシーケンシャルに構築

- 倉庫/MES/AGVと連携するためにはPCが必要
- 設備機種追加のたびにラダー更新が必要
- データ蓄積などデジタル化のために別途PC連携が必要
- スペックの問題で様々な機種を平行して生産が困難
- AIを利用するために別システムが必要

TOBE

CIMのある世界
PCを中心とした連携で変種変量生産を実現へ

- API、CSVで倉庫/MES/AGVと連携可能
- セルの追加はシナリオ更新だけで対応可能
- 高性能なCPUやメモリを搭載できるため、複数の並行処理が可能
- AIの実行や連携を直接実施することが可能
- 一般的なプログラミング言語を利用可能
- PLCは設備としての制御に特化（セル化）